

## 浮動小数の扱い (Binary Hacks #98 より)

研究室の後輩の浮動小数を扱うプログラムの挙動が gcc の最適化オプション (-O) の有無で違うというので考えてみたら  
やはり Binary Hacks #98 の通りで、  
x86 の浮動小数点レジスタの指数部が 15 bit 固定であるのが  
原因だった。  
最適化オプションの有無によって  
一度メモリに値を書くか書かないかの挙動が異なっていて、  
これで結果の値も異なっていたよう。  
ちなみに、BinaryHacks の pp.369 のプログラム、  
FreeBSD 上で最適化オプションをつけずにコンパイルして実行すると x86 でも inf になった。